

## V 中村政男 アルバータ大学教授（カナダ）の 短期招請について

政治経済学部教授 三 神 俊 信

カナダ・アルバータ大学の中村政男教授は、本学国際交流基金事業の短期招請プログラムによって来日され、1988年6月9日(休)から7月25日(月)まで客員教授として本学に滞在された。アルバータ大学とは、教員・学生交流を中心とした大学間協定を締結（1986年11月）しており、同教授はこの協定に基づいて来日された最初の研究者である。

現在はアルバータ大学経営学部に所属しており、専攻は計量経済学・計量経営学である。

中村教授による講演は次の日程で行われた。

第1回 Canadian Female Managers and Their Family Environment  
(6月28日)

第2回 Use of Panel Data in Estimating Work Behavior of Married  
Women in the U. S. (6月29日)

第3回 Estimating Models of Behavior of Canadian Women (6月30日)

この内、第1回は政治経済学部政策論スタッフ・セミナーが協賛した。そのため多数の学内・外の研究者と活発な意見交換がなされ特に、経済・経営理論が、計量的方法とデータの実証的な解析によりいかに経済或は経営問題解明に応用されるかについて示唆に富む報告がなされた。本学における計量経済学研究に新たな視点を提供するセミナーとなった。

第2回と3回は、主として大学院生・学部学生を対象とした講義であった。外国の大学教授によるはじめての講義に、最初は緊張しているように見受けられた学生も、中村教授の情熱の込められた静かな説得力ある語り口に次第に引き込まれ充実した講義となった。

講義内容は、アメリカ・カナダに於ける婦人労働の研究と会社データの解析を考察するものであり、計量的方法とデータ解析による経済・経営理論の確認に重点がおかれた。更に同教授は豊富な資料に基づく綿密な分析を披露され、懇切丁寧な解説は学生に好評であった。

中村教授は、滞在中広く学内外の研究者や学生と積極的に交流され、教育・研究活動両面で相互に有益な効果をもたらした。これを機会に、本学とアルバータ大学との交流がさらに盛んになることを切に願うものである。